

幼稚園の 子どもたち



とってもたくさんの ひまわりが さいている ひまわりばたけに
いきました。ぼくのせより おおきなおおきな ひまわりばかりで びっ
くりしましたが とてもきれいでした。

▲かねだ たいせん (愛英西山幼稚園 年少)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

●年間テーマ「親学ノススメ」 ●今号テーマ「身に付けよう 生活習慣」

親学 ノススメ

自分を信じる心

椋山女学園大学 教授 山口 雅史

秋の夜空に輝く月を眺めながら、遠い未来へ思いをはせてみました。今から20年、30年の時が流れた世界。お子さんたちはどのような人生を歩んでいるのでしょうか。日々の生活に追われながらも、きっとそれぞれの夢に向かって頑張っていることでしょうね。もしかしたら、あの月よりもはるか遠くの宇宙を旅している人だっているかもしれません。

夢を実現するために何よりも大切なことがあります。それは、主体性をもって生きるということです。自分で考え、自分で決断し、自分で行動する。自らの力で頑張ってきたという誇りは、たとえ失敗したとしてもくじけずに何度でも挑戦していく意欲を生み出してくれます。そして、この主体性を力強く支えるのが「私には、頑張ればどんなことだって成し遂げる力がある」という自分自身への信頼、すなわち自己信頼感です。

実は、幼児期に基本的な生活習慣を確立することは、小さな心に自己信頼の明かりをともし絶好の機会なのです。自分でごはんを食べられる、一人でトイレにも行ける、服のボタンだって時間をかければ自分で留められる……。赤ちゃんの頃は何かから何まで親任せだった自分が、今では人に頼らず自分の力で

ちゃんと身の回りのことをこなしているという自信。この自信が、自分をコントロールできているという自律性の感覚を生み、「自分にはどんなことでも成し遂げる力がある」という自己を信頼する心を育てるのです。

これからの人生には様々な困難が待ち受けています。30年後、もう親として手を差し伸べることはできないかもしれません。けれど、幼い日に育ててもらった自分を信じる心さえあれば、きっとどんな困難にも逃げることなく立ち向かっていってくれることでしょう。「自分でできることは自分でする」という基本的な生活習慣を確立して自己への信頼感を育んでいく小さな心を、焦らず慌てず、ゆったりと見守ってあげてくださいね。



家庭の日 図画作品



すいぞくかんに いって たくさんのたこを みたよ。おとなとこども
の たこがいて みんな なかよしでした。たこのては とてもなが
くてびっくりしました。

▲かめい りょうせいさん (慶和幼稚園 年少)



おとうさんと おかあさんと はじめての ぶどうがりに いったよ。
おとうさんに だっこしてもらって おおきいぶどうをとったんだ。あ
まくて すごくおいしかったから たくさんたべたよ。

▲うらた りゅうせいさん (桶狭間幼稚園 年長)

※図画作品の年齢は
制作当時のものです。

楽しく身に付けさせたい生活習慣

梶山女学園大学附属幼稚園
園長

横尾 尚子

「は～んぶんこ はんぶんこ」歌うような掛け声に合わせて、3歳児クラスの子どもたちがシャツやズボンをたたんでいます。大好きな水遊びを始めるために、水着に着替えること。脱いだシャツやズボンをきちんとたたむこと。ずいぶん上手になりました。「えんちょうせんせい みてみて」。どの子も誇らしげです。

食事、排せつ、睡眠。衣服の着脱といった生活習慣を身に付けることは、子どもの心身の円満な発達を促し、将来望ましい社会生活を送る上で重要な意味をもちます。その指導のポイントは、子どもが自ら進んで、楽しく、しかも期待をもって取り組めるような環境を用意し、大人も一緒に実践することです。園での取り組みの一端をご紹介します。

例えば、給食指導。毎日の給食を、まずは教師がモリモリおいしく食べます。食べながら、素材や味、栄養について話します。献立内容の栄養別色分けゲームをしたり、食材クイズや食べ物なぞなぞを出すこともあります。子どもたちは給食時間を心待ちにしている、食べ残しなしです。

「早寝 早起き 朝ごはん」は、まず早起きから。「早く起きて、早く幼稚園へ行きたい」と思ってもらえるように、遊具や絵本の配置にも気を配り、朝の遊びを魅力的なものにしています。

排せつについては、トイレが楽しい場所になるような工夫（動物やキャラクターの絵を貼るなど）と、立ち位置の足型

シールや便器内に的をつけて、上手に排せつするコツを知らせています。

写真は、靴下の着脱の様子です。靴下を脱ぐ時は、かかたが出るまで下げたら一旦停止。次はつま先から引っ張って、スポン。脱いだ靴下がバラバラにならないように、「おたまじゃくし（2枚の履き口を重ねて半分裏返す）」を作ることもあります。これで、次に履く時もスムーズです。

「なぜこの動作が必要なのか」「どうすれば上手にできるのか」。次への見通しをもたせながら、一緒に考えています。



子どもの成長と生活習慣

吹上幼稚園 保護者

山田 雅子

吹上幼稚園では、毎日の行き帰りに、先生方とあいさつを交わします。入園当初、初めての幼稚園生活への緊張からか、我が子は、まごまごするだけで、なかなかあいさつができませんでした。園生活に慣れてくると、小さな声ながらも、先生からの朝のあいさつに、「おはようございます」と返すことができるようになってきました。その声は日に日に大きくなり、今では、しっかりとした声で笑顔であいさつすることができるようになっています。

こうした子どもの変化に気付けるのも、送り迎えの中で、

我が子と時間を共有し、毎日の小さな積み重ねを間近に感じているからだと思います。友達関係や体調の変化も、毎日の送り迎えの中で気付くことができます。

年長組の子どもの中には、「おはようございます。朝雨す

ごかったね」と、あいさつと同時に朝の出来事などを先生に伝えたり、登園してくるお友達に「〇〇ちゃん、おはよう。昨日の（遊びの）続きをしよう」と走り寄ったりする姿が見られます。子どもたちを見ていると、朝のスタートはあいさつから始まることがよく分かります。

たまには機嫌の悪い時もあり、朝、門の前で足が止まることもあります。しかし、大好きなお友達が「おはよう」と声をかけてくれて、手を出してくれると、娘はその手をつなぎ、気持ちを切り替えて安心して登園することができます。そんな我が子を私自身も安心して送り出すことができます。

最近、地域でのつながりが希薄になっているといわれますが、子どもの頃からのあいさつの習慣は、これからの人間関係やコミュニケーションのとり方を学んでいく上で大切なものであり、社会生活の第一歩なのではないかと思います。

これからも、自分からあいさつができるような子どもに成長してほしいと願い、私も子どもの手本となれるように心掛けていきたいと思っています。



子育て Q&A

Q

朝ごはんがなかなか
食べられません。
どのようにしたらよいでしょうか。



A 朝食を食べることは、子どもにも大人にも、とても大切なことです。特に幼児期の子どもの、日々の活動で消費するだけでなく、脳や体が発育・発達するためにたくさんのエネルギーや栄養素が必要です。また、私たちは寝ている間にもエネルギーを使っていますので、毎日朝食を食べることによって、ブドウ糖をはじめとした様々な栄養を補給し、午前中からしっかりと活動できる状態を作ることになります。朝食をよくかんで食べることで、脳や内臓の働きが活発になり、排便習慣など生活のリズムを整えることにもつながります。

しかし、実際には「朝食がなかなか進まない」と悩む方も少なくはないようです。そのようなときには、ぜひ「早寝早起き朝ごはん」を心掛けてみましょう。

「早寝早起き」と「朝ごはん」には深い関わりがあります。まず、睡眠は、子どもの心身の成長や記憶の定着にとっても大切です。午後9時頃には就寝させるように心掛けましょう。いきなり早く寝るのが難しい場合には、早起

きからはじめ、昼間にはたっぷりと体を動かして遊べば、疲れて早く眠ることができます。また、テレビを消す、寝室に移動して絵本を読むなど、寝付きやすい環境をつくり、毎日同じ時刻に眠るように促すことも大切です。

そして、夜にはぐっすりと眠り、朝起きたら太陽の光を感じたり、朝ごはんの配膳などのお手伝いで体を動かしたりすれば、脳も体もすっきり目覚め、朝ごはんもおいしく食べられることでしょう。その際は、誰かと一緒に食べることで、より食欲もわいてきます。

仕事で夜遅く帰ってくる家族を待って入浴したり遊んだりして、就寝が遅くなるということも耳にします。各家庭の事情もありますが、食事や睡眠のリズムが乱れてしまっては心配です。朝、家族と一緒に散歩したり、会話をしながら朝ごはんを一緒に食べたりすることは、子どもの健やかな成長にとって有意義なことです。家族全体でできることから挑戦してみましょう。

こんなほん あんなほん 「ひとりでできたよ」

『ぼくはあるいた まっすぐまっすぐ』

マーガレット・ワイス・ブラウン／作
坪井郁美／文 林明子／絵
ペンギン社



はじめて一人でおばあちゃんの家へかけることになった男の子。お家の前の道をまっすぐ進めばいいのですが、田舎道には男の子を驚かせるものがたくさんあります。がんばれ、がんばれ!

鶴舞中央図書館からの紹介です

『ラチとらいおん』

マレーク・ペロニカ／ぶん・え
とくながやすもと／やく
福音館書店



ラチは世界一弱虫の男の子。友達さえこわいのです。強いライオンがついていたらなあ…と願ったら、なんと小さなライオンが現れます。ライオンに励まされて頑張るラチを応援したくなります。

『くんちゃんのはたけしごと』

ドロシー・マリノ／作・絵
間崎ルリ子／訳
ペンギン社



くんちゃんはお父さんの畑仕事を手伝おうとします。でも種をまいた土をひっかいたり、実のなる花を摘んだりして「だめ、だめ!」と注意されてばかり。どうしたらいいのかな。こぐまのくんちゃんシリーズの1冊です。

ひとりでできるよ、見ていてね

今回ご紹介した3冊の絵本には、ひとりでできるようになった時の幼い子どもの気持ちや頑張りや丁寧な描かれています。主人公は皆甘えん坊の普通の子どもたち。絵本からは、初めてのことに挑戦したり失敗や苦手意識を乗り越えたりした時の誇らしさと喜びが伝わってきます。ただ、お話はそこが終わりではありません。印象的なのは、どの絵本にも主人公の成長を喜んでくれる誰かがいること。頑張りを受け止めてもらってストーリーは完結するのです。絵本を読んでもらった子どもも主人公と同じように気持ちが満たされるでしょう。温かく見守られていると信じられるからこそ頑張ることができるのは誰もが同じです。身近な人や世の中への信頼感を育ててくれるお話を、子どもたちにたくさん読んであげたいですね。

名古屋市鶴舞中央図書館
児童担当 中村・前田・新藤・金子

TEL:052-741-9811 FAX:052-733-6337

なごやっ子読書イベント



親子で集まろう！

素敵な音楽や
人気キャラクターとともに楽しむ



本の世界

参加無料

- 日時:平成29年10月21日(土) 11:00~15:15
- 場所:ナディアパーク2階 アトリウム・イベントスペース
名古屋市中区栄三丁目18-1(市営地下鉄矢場町駅徒歩5分)
- 主催:なごやっ子読書活動推進実行委員会
- 問い合わせ先:名古屋市教育委員会生涯学習課管理係
電話(052)972-3252 FAX(052)972-4178

子どもたちが読書に親しむことの大切さや楽しさなどについて知っていただくため、読書のイベントを開催します。

当日は、東海テレビのアナウンサーによる本の読み聞かせイベントを行います。パーカッションやバイオリンの演奏、美しい歌声と共にお届けする楽しいステージです。また、絵本の世界に入り込む体験型のイベントを行います。絵本の登場人物になって、物語を楽しめます。ほかにも、子どもたちに人気のキャラクター「ノンタン」や「かいけつゾロリ」と一緒に記念撮影ができます。

小さなお子様から保護者の方まで、親子で楽しい時間を過ごしていただけます。ぜひご家族でお越しください。参加無料です。

家庭の日 図画作品



はじめて むしとりを しました。とんぼや ばったや ちょうちょうとれました。とんぼのめが あおやきいろで びっくりしました。おとうさんは むしをさわられて すごいです。

▲よしだ ちとさん (天道幼稚園 年長)



ほっかいどうに ひこうきで いきました。たくさんのしんせきにはじめて あいました。みんな しんせつで たくさんあそんでくれたので またいきたいです。

▲きたがわ しゅんさん (猪高幼稚園 年中)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

「家庭教育相談事業」開催のお知らせ

市立幼稚園において保護者を対象に専門家による子育て相談会を開催しています。ぜひお出かけください。

開催日時、会場等は名古屋市公式ウェブサイトでもご覧いただけます。



年	月 日	区	幼稚園名	電話番号
29	10月20日(金曜日)	昭和	吹上	731-8766
	10月27日(金曜日)	守山	二城	793-3851
	10月30日(月曜日)	瑞穂	高田	871-3808
	11月 1日(水曜日)	北	報徳	913-5321
	11月 6日(月曜日)	東	第一	961-5506
	11月 6日(月曜日)	千種	第二	731-3510
	11月 7日(火曜日)	中川	荒子	353-4936
	11月13日(月曜日)	名東	梅森坂	703-6644
	11月17日(金曜日)	緑	神の倉	876-6490
	11月24日(金曜日)	中川	春田	301-3610
	11月27日(月曜日)	名東	猪高	773-2756
	12月 1日(金曜日)	緑	桶狭間	621-6018
	12月 4日(月曜日)	中川	常磐	361-7133
	12月11日(月曜日)	緑	鳴子	892-2616
	12月13日(水曜日)	西	第三	561-2348
30	12月18日(月曜日)	北	楠西	902-2250
	1月16日(火曜日)	東	大幸	722-1546
	2月22日(木曜日)	北	おりべ	914-2806

編集後記

保護者の皆様や編集委員の皆様の協力を得て、今年度の「幼稚園の子どもたち」NO.2が発行できました。ご協力ありがとうございました。

今号は、「身に付けよう生活習慣」をテーマに取り組みました。

基本的な生活習慣の形成には、子どもの頃が一番大切な時期だといわれています。基本的な生活習慣は、子どもの健やかな成長と心の安定にとっても大切だと思います。そのため、家庭での生活経験の影響を大きく受けてしまう子どもの頃の生活習慣には、特に配慮が必要ではないでしょうか。家庭が子どもにとって笑顔で安心して過ごせる場となり、健康で豊かな心を身に付けていく場となってほしいと願っています。

さて、これから子どもたちが楽しみにしている行事が多い季節となります。体調管理に心掛け、健康にお過ごしください。

*ご意見ご感想をお待ちしています。係までお寄せください。

●担当/生涯学習課社会教育係
電子メールアドレス
a3253@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。